

# Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 449

2026年1月4日 発行：みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

TEL : 022-728-8812 FAX. : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail: [info@9jou.jp](mailto:info@9jou.jp)

## 2026年「20歳を祝う会」のチラシ配布

宮城県内九条の会連絡会では「20歳を祝う会」向けのパンフレット(テッショ付き)の配布活動を行ないます。

### <県内各地で行われるチラシ配布>

- ・名取市
- ・岩沼市
- ・多賀城市
- ・松島町
- ・塩竈市
- ・亘理町
- ・こごた

頼むね!  
~未来は君たちの手に~  
20歳おめでとうございます!



### <仙台市「はたちのつどい」>

1月11日（日）ゼビオアリーナ仙台（仙台市アリーナ）

仙台市太白区あすと長町1丁目4-10

地下鉄南北線「長町駅」下車 徒歩5分

JR「長町駅」下車 徒歩5分

[第1部] 開場11時00分、式典 12時00分

[第2部] 開場14時00分、式典 15時00分

配布活動に参加できる方は、下記事務局までご連絡ください。

集合場所：11時30分 ゼビオアリーナ会場入り口付近に

詳しくは下記までにお問い合わせください。

#### みやぎ憲法九条の会事務局

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

mail ; [info@9jou.jp](mailto:info@9jou.jp)

憲法って?  
“わたし”を守るもの

わたしが わたしらしく 生るために  
あなたが あなたらしく 生るために  
大切なこと それが人権  
「一人ひとりの人権を大切にした  
国づくりをします」と約束したのが憲法  
憲法という約束を守らなければならないのは  
国という権力  
憲法に守られているのはわたしたちです。  
成人になられた皆さんに、憲法が身近なものとなるよう願って、このリーフレットをお届けします。  
発行:宮城県内九条の会連絡会(2026年)  
仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F  
info@9jou.jp TEL 022-728-8812



## 「大軍拡反対請願全国署名 11/30 現在)

宮城県内九条の会連絡会 : 297 筆 他団体 : 965 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 1262 筆

\* 4月1日より全国市民アクションの署名用紙が「税金はくらしの充実に戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」に変わったので新たにカウントしています。

\* 「署名ハガキ付チラシ」を宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

\* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「同上」「〃」は不可です。国会提出時チェックするために大変な苦労となっています。よろしくお願ひいたします。



## 宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12時から13時まで。

実施日：1月27日

## 1月の「19日行動」

19日行動は、2015年9月19日に日本国憲法9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：1月19日(金) 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：1月19日(金) 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：1月19日(金) 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：1月19日(金) 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：1月19日(金) 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：1月19日(金) 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：1月19日(金) 16:00～16:45 場所：岩沼駅 東・西口
- 仙南九条の会：1月19日(金) 11:00～11:30 場所：大河原町生協前（小雨決行）

## 1月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

## 地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23日行動：1月23日(木) 13:00～13:30 坂下交差点・
- ・鶴ヶ谷地域九条の会九条改憲NOスタンディング  
毎月第1水曜日 11:00～12:00 鶴ヶ谷団地入口、第3水曜日 11:00～12:00 鶴ヶ谷生鮮市場前広場

- 1月7日(第1水) 団地入口 11:00～12:00  
1月21日(第3水) 生鮮市場前 11:00～12:00

## 【最近、行われた各地の活動について】

大沢九条の会

2025年11月16日（日）

「戦後80年 戦争と平和を考える秋のつどい」

大沢九条の会は、本年度2回目のつどいを11月16日に開催しました。

当日、オープニングでソーラン節を3人の舞踊を範に、参加者も踊りました。その終了後、13時30分に開会し、15時30分過ぎ迄の2時間強を講演、紙芝居、感想・意見交流と進め、最後に「青い空は」を合唱して終了としました。

講演を85歳の元医師の井田さんに「戦後80年 平和について考える」と題して行って頂きました。井田さんは、父親と母親、そして本人、妹2人の5人家族でしたが。

終戦1年半後に消息不明の南満洲鉄道職員父親を除いた4人が日本へ引き揚げてきました。大連から引き揚げ船で佐世保に着き、検疫所で大量のDDTの粉末を振りかけられたことや混雑した引き揚げ船の中での出来事などが話された。

また、佐世保から仙台までの列車での様子、空襲後の仙台の荒廃状況、食料確保に難儀したことなど体験が時系列で話されました。消息不明だった父親とは仙台着後に再会できたようです。引き揚げの話だけではなく、戦争の実体や9条、平和への思いなどパワーポイントを活用し重層的に話していただきました。

紙芝居「仙台空襲」を演じた百束さんは、子どもや大人、男女そして空襲される前後の状況がまるで直に見えるような迫真的表現でした。紙芝居をプロジェクターで拡大した映像は、遠くから見ていた参加者にも十分伝わるものでした。

この後の数名の感想・意見で、参加者は「戦争は絶対ダメ」の思いを共有し、最後の「青い空は」の合唱で充実したさわやかな心地で家路に就きました。

大沢九条の会事務局長 佐藤春治

国見九条の会

2025年11月22日

「旧満洲1年間放浪の体験談」 第2弾

鈴木 謙さんとの懇談会

国見九条の会では5月に「ひとりぼっちの難民小学生」の演題で、鈴木謙さん（元秋田県学習協会会長）に講演をして頂きました。82名が参加し大変好評で、もう一度話を聞きたい、との声が上がり11月22日に第2弾の会を行い16人が参加しました。

今回は特に準備もなく最初からフリートークで進めましたが次々と質問や意見が出され、鈴木さんからは応答が交わされあつと言う間に予定した2時間がたちました。60年安保闘争が自分の青春真っ盛りの時代でカンパを集め安保列車に仲間を乗せ毎晩のように東京に送り出し組合活動と学習運動に全力投球した。昭和23年に帰国したが日本の学制が変わり新制中学になじめなかった、学校に行くよりも一家が大変貧乏になり米を体に巻き付けて東京のアメ横で売ってお金にして山形の家に帰ることをショッちゅうやった、この時は重い米を体に巻き付けながら警察に追われたが必死に走って逃げた、仙台にもお米を売りに来て魚を買って帰った、2年間は勉強もろくにできなかつたと戦後の苦労話も語られました。また参加者より「私の住んでいた東京西荻窪の家の近くに山田乙三の実家があった。山田乙三は関東軍がソ連軍に降伏した時の総司令官（責任者）でシベリアに抑留され昭和30年頃に生きて帰つて来た」と満洲に関わりを感じて質問される方や、「私は東京の三鷹で保育園に勤務していましたが、中国残留孤児のお孫さんが毎年3人くらい入つて来ました。入園するのは0歳から5歳までの子どもさんですが毎日送り迎えに来るのは残留孤児のおばあさんで日本語は全く分かりませんでした」という経験を話される方もおりました。「うちの父は陸軍中尉で大陸では加害者として残虐なことをして帰り広島では原爆に遭い被爆した。自分は被爆二世である」という方もおられました。この方は『南京事件』（岩波新書）のことを語り高市首相が「南京事件はでっちあげ」との態度であることを批判していました。また鈴木さんが全損保の組合の全国大会で生き生きと発言していた当時を知る方が二人来られて「數十年ぶりに鈴木さんのお話を聞くことが出来て嬉しかつた。戦争の悲惨さを語る人が少なくなりこのような機会は大変重要だと思った」と感想を述べていました。



型通りの講演会もいいですが、このように自由に意見を述べ合つて、戦争体験者の話を聞き、質問を出し合い、平和の維持に私たちは何をすべきか考え合う場を作るのもいいものだなと感じた懇談会でした。 （国見九条の会 白砂英男）

＜感想文＞ （塩竈市；70歳代 男）

鈴木諄さんのお話を聞きたいと思い参加した。

一番伺いたいと思っていたのは「安東から新京まで500kmもの距離を小学6年生（12～13歳）が歩いて帰ろう」と決意するところであった。「家族に会いたい一心」というのは解かるが、それにしてもという気持ちが私にあった。それで聞いた。

鈴木さんの答えは以下の内容であった。

- ① 私の父は満鉄の幹部であり、自分は小さい時から鉄道が好きであった。鉄道の線路伝いに歩いて行けば新京に着くという確信があった。だから、放浪中も線路から離れないように気をつけて歩いた。
- ② また、家に来た中国人との話を聞いて、生のニンニクを1日2~3個を食べていれば生きていける、と話していたことを覚えていた。もちろんそれだけではなく、途中いろいろなものを盗んで食べていたのであった。
- ③ また、満州の農家は、日中は外で働くので家は留守になる。鍵はかかっていないので入って服や食料などを盗んだ。

なるほどと思った。しかし、一年にもわたる期間を食料もなく交通手段もなく、一人で歩き続けることは日々、あるいは一瞬ごとの判断が恐ろしく大変なことであったと思う。

放浪中の話はまるで活劇でハラハラドキドキだ。どんどん読み進む。

よく生きて新京まで行けたものだと、改めて思う。

戦争が人間性を失わせると書かれている。その通りだと思う、三光作戦を実施し、人間性を失っていき、帰還してもトラウマとなった日本兵士も多い。帰還しても、昔と人が変わってしまい、家族と話もせず酒に溺れ、働けなくなってしまう。はては自殺してしまう。生きて帰ってきても死んだと同然にされる。戦争はしてはいけないと心から思う。

### 仙南九条の会

### 19日行動 街頭宣伝

#### 「台湾を巡る存立危機」発言に高市危機の不安と批判

12/19は、穏やかな日で、街頭行動もやり易かった。大河原生協前で11時から11時30分まで、参加者は15人、街頭宣伝(5人がマイクを握る)と横断幕、パネルで行いました。高市首相の「台湾を巡る存立危機」発言を批判するとともに、この発言を巡る中国と日本との関係を中心に訴えた。



# 【各地で発行されているニュースなどの紹介】

みやぎ県内の九条の会ではニュースを発行して賛同の会員へ配り、繋がりをつくっているところがあります。ニュースの表紙コピーで紹介します。 ニュース紙面の全ページを希望される方は、事務局 ([info@9jou.jp](mailto:info@9jou.jp)) へメールでご連絡お願いします。

輝け九条 No.44 2025.10.24

宮城女性九条の会

〒981-0011 仙台市青葉区上杉 2-1-10 仙台YWCA会館内  
TEL090-5832-6836 FAX022-241-0429

<平和の俳句集より—10月の一旬>

・虫のこゑ 奈う氣になど なれぬ  
辻本直子(47才)

・走途と いつもの道を 歩いてく  
齊藤ひな(12才)

<自民党総選に思う>

いつまで続ける  
「金だけ 今だけ 自分だけ」  
10月15日付朝日新聞の「潮流する日本政治・長谷部・杉田」  
を読んでやっと灯を見つけました。長文の記事から長谷部恭  
男さん(早稲田大学・憲法学)のことばを紹介します。

人気取りはうまいが社会像がない新党首  
昨今の日本の政治の特徴は何のために権力を握る  
のかという目標や価値が蒸発している。先の参院選  
で議席を伸ばした小政党の党首は人気取りにはたけ  
ているが、あるべき社会像を描けていない。権力ゲー  
ムが面白くて夢中になっている。しかも政党助成へ  
という多額の「賞金」までついてくるのだからこ  
はやめられない。

安倍政治に反骨のない高市政治  
マックス・ウェーバーは、政治家は行為の結果に  
任を負う「責任倫理」を説いているが、行為の結果  
良かったか悪かったかの判断は選挙に依拠するし

の支配を守り、事実は事実として認めるといったミニマム(最低限度)な規律をもちろん離脱した上のこ  
とではあるが、単に税制や社会保障負担をいじると  
いったことを超えた、日本社会の大きな展望を描い  
てもらわないと。

<第54回憲法講座・定例総会の報告>

ちっとも進まない選択的夫婦別姓  
9月14日(日) 山田いずみ弁護士を講師に迎えて  
「私たちのくらしと憲法」について学びました。  
この日の中心は選択的夫婦別姓問題。当事者意識  
が薄い私たちでしたが、山田講師の実体験を聞いて  
身近な問題になりました。詳しくは報告を同封しま  
したのでごらんください。

福口景子さん、一戸葉子さん  
長い間、ありがとうございました  
引き続き行われた総会で提案議事はすべて承認さ  
れました。  
役員関係では、福口・一戸両共同代表が退任し新共  
同代表に山田いずみ・鹿戸佳子が就任。  
また、新会員入会式典が開催されました。  
福口・一戸共同代表には2005年の設立から今日ま

1959年1月31日 第3種郵便物

## 宮城のうたごえ協議会ニュース 9号 2025.12.19 宮城のうたごえ協議会

〒983-0841 仙台市宮城野区原町3-8-3 内海ビル3階 FAX 022-762-5971

2025日本のうたごえ祭典 in 神戸・ひょうご 11/22~24

合唱発表会には、宮城から10団体・個人が出演しました。小編成の部では、D51合唱団が金賞  
に、一般の部Bでは、仙台合唱団が銀賞に輝きました。おめでとうございます！ 😊



仙台合唱団



D51合唱団 伸介さん→



医療のうたごえ合唱団セデス



みやぎ紫金草合唱団



## 【これから、県内で行われる活動のお知らせ】

### 戦争を語り継ぐ上映会

#### 「軍神と記者」～“特攻”封じられた本心～

昭和19年10月、初めて組織的に行われた特攻。口火を切ったのは愛媛県出身の関行男。“軍神”とあがめられ、その後に続くように多くの命が犠牲になった。関が“軍神”と呼ばれるきっかけとなったのは元海軍報道班員・小野田政が書いた記事。

##### ■「戦意高揚のシンボル“軍神”はいかに立てられたか」（2025年、25分）

太平洋戦争では、真珠湾攻撃の「九軍神」をはじめに、545の個人と部隊が軍神とされた。ガダルカナル島で戦死した大舛松市大尉は、沖縄初の“軍神”と呼ばれ、「全県民大舛精神に続け」と根こそぎ動員の精神的象徴に立てられた。それは軍部とメディアが一体となって導いたものだった。

##### ■「終戦なお遠く～受忍論が阻む戦後補償～」（2025年、25分）

アジア太平洋戦争終結後、国は旧軍人や遺族に60兆円に上る補償をする一方、空襲で被害を受けた民間人に何の手立ても講じてなかった。戦後80年目の空襲被害者を追った。

■日時：1月21日（火）10:00～12:00

■会場：泉区加茂市民センター・別棟会議室

■主催：戦争を語り継ぐ会（連絡先：野原 022-378-0872）

\* 上映会2月・3月は会場が改修工事のため休止、4月から再開します。

市民連合@みやぎ.

2026新年のつどい

～信じられる未来へ～

新しい政治をつくる市民連合みやぎ

日時：1月17日（土）13:30～16:00

場所：宮城県民会館 601室

講演：中野晃一さん（上智大学 教授）

part1. 国政報告 宮城県内選出国会議員・東北ブロック選出国会議員など

part2. クロストーク 「高市政権を許さない」 国会議員＆参加者

連絡先：多々良（080-1673-8391）

## 核兵器禁止条約発効 5周年

# 核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足 5周年

## 記念イベント

被爆 80 年の 2025 年は、いろいろな運動が展開され、核兵器廃絶に関する新たな動きも生まれてきました。いまだに核兵器禁止条約（TPNW）に参加しない日本政府を、変わっていく運動が今求められています。核不拡散条約（NPT）と TPNW の 2 つの再検討会議が行われる 2026 年、ご一緒に運動を広げてまいりましょう。そのスタートのイベントにぜひお集まりください。

### ＜講演＞

#### ・ 大久保買一 弁護士

日本弁護士連合会核兵器廃絶部会部会長

日本反核法律家協会会長

核兵器廃絶日本NGO連絡会共同代表

ノーモア・ヒバクシャ記遺産を継承する会副理事長

### ＜演奏会＞

#### ・ 塚野淳一さん

仙台市在住。社の弦楽四重奏団。仙台チェンバーアンサンブル。日本音楽家ユニオン東北地方本部代表運営委員。毎年宮城県原爆死没者追悼平和祈念式典でチェロの演奏を披露している

#### ・ 叶 千春さん

仙台市出身。国立音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻卒業。オーケストラや音楽教室で指導。2008年から「杜の室内楽」演奏会を定期開催。仙台チェンバーアンサンブルメンバー

日時；1月22日（木）13時半～16時

場所；戦災復興記念館 2階記念ホール

参加費：無料 予約なしでどなたでも参加できます

【主催】 核兵器廃絶ネットワークみやぎ

問い合わせ 木村緋紗子 090-7326-5885

**死刑を考える日 映画「マミー」 上映会**

**夫のもとへ一日も早く早く  
死刑台よりの「生還」を世界中の方々に  
母は、無実だと思う  
和歌山毒物力事件から 26年目の挑戦**

**死刑を考える日 映画「マミー」 上映会**

**入場無料・予約不要**

**日時；2026年 1月24日（土）**

**上映時間；1回目9時45分～ 2回目12時30分～ 3回目15時15分**

**場所；せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター**

**主催；仙台弁護士会**

**共催；日本弁護士連合会、東北弁護士会連合会**

**（お問い合わせ先）仙台弁護士会**

**電話番号；022-223-1001**

**第52回 2.11 信教・思想・報道の自由を守る 宮城県民集会**

**「つづく戦争  
～田んぼと原発」**

**講演； 山内明美さん（宮城教育大学 准教授）**

日本の近代化とは何かを、植民地主義の歴史と共にさかのぼる必要があります。

米の足りない国であった日本は、朝鮮半島、台湾、満州といった植民地での稲作を進めます。大正の米騒動以後は、朝鮮、台湾での日本米品種の増殖政策も行われました。こうしたできごとと電源開発・核政策とはどのようにつながっていくのでしょうか。

**日時** ; 2月11日（水）13:30～16:00

・13時10分より、苦米地サトロさん・宮城のうたごえによる歌があります。

**場所** ; フォレスト仙台2階ホール

(地下鉄南北線「北四番丁」駅下車、北へ徒歩5分)

**【入場無料】**

◆講演会後、デモ行進を行います。ふるってご参加ください。

◆託児所を設けます。

当日、受付にお申し出下さい。（無料）

■オンライン同時配信を行います。

インターネット配信での視聴方法】下記のいずれかにアクセスしてください。

★YouTubeのチャンネル（右のQRコードをご利用ください）

★ホームページ「2・11信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」

<http://211miyagi.jimdote.com/>

★Facebook「2・11信教・思想・報道」で検索すると当集会が出てきます。

主催：靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議



**編集後記**

2026年を迎えました。個人的に、3.11後は新年の挨拶ができなくなっています。15年を経とうとしていますが失礼いたします。

2026年は多くの九条の会は結成20年を迎えるところが多いと思われます。2004年に大江健三郎氏、井上ひさし氏らの呼びかけで「九条の会」の結成が全国に広がりました。その時の熱意や想いを集めて、この世界的な状況を語り合う。そんな時間を作つてみたいですね。「9条のつどい」では、秋葉さんのお話でも井戸端の集まりなどで、1人から3人へと広がるのがとても重要だと言われていました。

このeメールニュースでも、各地の九条の会発足時の声や想いを伝えていければと思っています。  
(事務局；阿部 比佐久)